

※ 認定農業者に認定されている農地所有適格法人は、この様式の提出は不要です。
ただし、1年以内に新たに認定農業者となった所有適格法人はこの様式を提出する必要があります。
※ 認定農業者以外の農地所有適格法人は提出時に必ず定款を添付してください。
※ (D) 及び (E) を記入する際、人数が4名以上いる場合は、必要事項を別紙にまとめ提出してください。別紙の様式は問いません。

農用地利用集積等促進計画により賃借権の設定等又は所有権の移転(以下「権利設定等」という。)を受ける者の農業経営の状況等(農地所有適格法人用)

様式-10の別添

整理番号		農地所有適格法人の名称		株式会社いまばりファーム																	
現在、所有権を有し耕作又は養畜の事業に供している農用地の面積(A)				現在、所有権以外の権利により耕作又は養畜の事業に供している農用地の面積(B)				権利設定等を受ける農地所有適格法人の事業の状況(C)				主な家畜の飼養の状況(F)		主な農機具の所有の状況(G)							
								事業の種類													
								事業の種類		農畜産物名		関連事業等の内容		左記以外の事業内容		記載注意の(5)をよく確認して記入してください。		種類		数量	
								現在		米、野菜		農畜産物加工									
権利取得後		同上		同上																	
								事業の実施状況及び事業計画													
農地		甲		甲		農業		左記以外の事業		法人の農業(関連事業等を含む)以外の事業の売上額を記入してください。		トラクター 耕うん機 動力噴霧器 管理機 コンバイン		2 1 1 1 1							
		面積は記入不要です。 農業委員会事務局が、農地台帳を基に記入します。		3年前		12,345,670		法人の農業の売上額を記入													
				2年前		12,355,555															
				1年前		12,111,221															
				初年度		12,000,000		←提出年度の見込みの額													
				2年目		12,000,000		←提出年度の翌年度の見込み額													
樹園地		樹園地		3年目		12,000,000		←翌々年度の見込み額													
採草放牧地		採草放牧地																			
権利設定等を受ける農地所有適格法人の構成員の状況(D)																					
氏名・名称		議決権又は株式の数		法人への農用地等の権利設定等		年間農業従事日数		法人と構成員との取引関係等の内容													
				権利の種類	面積 m ²	前年実績	見込み														
朝倉 太郎		50		使用貸借	2,000	150	150														
玉川 次郎		25				150	150														
						150	150														
権利設定等を受ける農地所有適格法人の業務執行役員の状況(E)																					
氏名		住所		年間農業及び年間農作業従事状況				権利設定等を受ける農用地等の周辺の農用地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響(I)													
				農業従事日数		農作業従事日数															
				前年実績	見込み	前年実績	見込み														
朝倉 太郎		今治市朝倉上〇〇-〇〇		150	150	150	150	なし													
玉川 次郎		今治市玉川町〇〇〇〇		150	150	150	150														
今治 三郎		今治市美須賀町〇〇-〇〇		150	150	150	150														
雇用労働力(年間延日数)				500人日																	

- (記載注意) (1) 権利設定等を受ける者の農業経営の状況等の記載は、同一公告に係る農用地利用集積等促進計画(以下「促進計画」)中、いずれかにその添付があれば、他はその添付を要しない。
- (2) (A)欄は、所有権が設定されている農用地の面積を記載する。
- (3) (B)欄は、所有権以外の権利(賃借権又は使用貸借権等)が設定されている農用地の面積を記載する。
- (4) (C)欄の「農畜産物名」欄には、法人の生産する農畜産物のうち、粗収益の50%を超えると認められるものの名称を記載する。なお、いずれの農畜産物の粗収益も50%を超えない場合には、粗収益の多いものから順に3つの農畜産物の名称を記載する。
- (5) (C)欄の「関連事業等の内容」には、法人の農業に関連する事業(①農畜産物を原料又は材料として使用する製造又は加工、②農畜産物の貯蔵、運搬又は販売、③農業生産に必要な資材の製造、④農作業の受託)、農業と併せ行う林業、農事組合法人が行う共同施設の設置又は農作業の共同化に関する事業を記載する。
- (6) (C)欄の「権利取得後」欄には、権利設定等を受ける農用地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度以後の状況を記載する。
- (7) (C)欄の「農業」欄には、法人の農業(関連事業等を含む。以下「農業」という。)の売上高の合計を記載し、それ以外の事業の売上高については、「左記以外の事業」欄に記載する。
また「1年前」から「3年前」の各欄には、その法人の決算が確定している事業年度の売上高の促進計画の公告前3事業年度分をそれぞれ記載し(実績のない場合には空欄)、「初年度」から「3年目」の各欄には、権利設定等を受ける農用地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度を初年度とする3事業年度分の売上高の見込みをそれぞれ記載する。
- (8) (D)欄の「議決権又は株式の数」欄には、株式会社にあっては株式(議決権のあるもの)に限る。)の数を記載する。
- (9) (D)欄の「前年実績」欄には、促進計画の公告の日を含む事業年度の前事業年度において法人の行う農業に常時従事している構成員の農業への年間従事日数を記載し、「見込み」欄には、権利設定等を受ける農用地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度における農業への年間従事日数の見込みを記載する。なお、「年間農業従事日数」には、農業部門における労務管理や市場開拓等に従事した日数も含まれる。
- (10) (D)欄の「法人と構成員との取引関係等の内容」欄には、例えば、「法人から生産物を購入している食品会社」、「法人に農作業を委託している農家」、「法人に肥料を販売する肥料会社」、「法人と特許権の専用実施権の設定を行っている種苗会社」等と記載する。
- (11) (E)欄の「住所」欄には、農事組合法人にあっては理事、合名会社、合資会社又は合同会社にあっては業務執行権を有する社員、株式会社にあっては取締役(以下「業務執行役員」という。)が生活の本拠としている市町名を記載する。
- (12) (E)欄の「農業従事日数」欄の「前年実績」欄には、促進計画の公告の日を含む事業年度の前事業年度における業務執行役員の農業への年間従事日数を記載し、「見込み」欄には、権利設定等を受ける農用地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度における農業への年間従事日数の見込みを記載する。なお、「年間農業従事日数」には、農業部門における労務管理や市場開拓等に従事した日数も含まれる。
- (13) (E)欄の「農作業従事日数」欄の「前年実績」欄には、促進計画の公告の日を含む事業年度の前事業年度において業務執行役員が行った農業への年間従事日数の内数として、その行った耕うん、播種、施肥、刈取り等の農作業に従事した年間日数を記載し、「見込み」欄には、権利設定等を受ける農用地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度における農作業に従事する年間日数の見込みを記載する。
- (14) (H)欄の「農作業に従事する者の配置の状況」について、農用地が複数市町にまたがる場合には、市町別に記載する。なお、「住所地、拠点となる場所等」は、市町名を記載する。
- (15) 権利設定等を受ける者の農地法その他の農業に関する法令の遵守の状況を、別紙に記載し、添付する。